



第14回総会盛会裡に終了

新幹事に 青山稔さん・福田昇七さん

第14回（平成20年度）総会は、11月14日（土）午後2時から久米川駅北口の菊水ホールで開催された。

第一部の定時総会では会長挨拶のあと、議事に入り平成19年度活動報告、会計報告・監査報告、平成20年度活動計画並びに予算案の説明が行われ、続いて青山・福田の両氏を新役員とする案が出され、すべての議案が承認された。そのあと早稲田大学理事の本多聖治氏からご祝辞並びに大学の近況報告を頂いた。

第二部では本会会員の安田忠治氏から「子供たち一人ひとりの資質・能力を育てる教育」という演題で記念講演が行われた。

第三部の懇親会では平山東久留米稲門会長の祝辞があり、来年は東村山・清瀬・東久留米が三多摩支部の幹事となるので、小亀会長を支部長として、皆さんと協力して三多摩支部大会を成功させたいとのお話があった。続いて早稲田大学の一橋監査室副部長からご祝辞を頂いたあと、丁度一年前、病で倒れた山下元会長がお元気な姿をお見せになり、元気な声で乾杯の音頭をとって下さり、開演となった。

東村山渡部市長もご多忙の中を駆けつけて頂き、ご祝辞を頂いた。和やかな雰囲気の中で懇談の輪が広がった。新入会員や、新役員の紹介やご挨拶もあり、音楽同好会の合唱が宴に花を添えた。先日96才で亡くなった森繁久弥さんを偲んで「知床旅情」を全員で歌った。そして最後は勿論全員で肩を組んで、名曲「東村山稲門会の歌」「紺碧の空」「早稲田の栄光」と校歌「都の西北」を井原さんの指揮で大声で歌いお開きとなった。ご出席頂いた皆様に心から御礼申し上げます。（出席者数は、会員79名、来賓等19名、系98名でした。）

来賓出席者 早稲田大学理事・本多聖治氏・監査室副部長一橋良博氏・渡部東村山市長
立川稲門会②西東京稲門会①小平稲門会②東久留米稲門会②国分寺稲門会②
町田稲門会②府中校友会①武蔵野稲門会①小金井稲門会①東大和設立準備会②



新年会

琴の調べで新春を祝おう！
新年会に全員集合

先月号のニュースでご案内しました新年会、下記にて詳細が決まりました。
会場は、今年10月にオープンした、東村山駅西口直結の再開発ビル内「サンパルネ」の
コンベンションホール。市が東京ドームグループに管理・運営を委託している施設です。
当日は當摩彰子副会長の知人、江藤佳子さんが本格的な琴の演奏をしてくれます。
新春を飾る心地良い音色は、皆さんへの素晴らしいお年玉となってくれることでしょう。
出欠の回答は同封の葉書にて12月末日迄にお願いします。同伴者大歓迎、新年のスター
ートを大いに語ろうではありませんか。

記

日 時 : 平成22年1月23日(土) 午後5時より
場 所 : サンパルネ コンベンションホール
(東村山駅西口直結・再開発ビル2階 TEL 395-5115)
会 費 : 5,000円 (同伴者は3,000円)

会からのお知らせ

○ 1月定例役員会

日 時 : 平成22年1月9日(土) 13:00～16:00
場 所 : 市民スポーツセンター 研修室
会員の皆様はどなたでも参加できます。是非お出で頂き稲門会に
対してのご意見等をお寄せ下さい。

○ 新入会員

劉 雲龍 (リュウ ウンリュウ)
〒189-0014 東村山市本町1-6-1 デュエット 久米川208号室
電話 090-2936-3778 平成18年 理工学部(応化)卒

○ 退 会

尾上 友男 野口町 転居のため退会

○ 第66回雑学講座

日 時 : 平成22年2月6日(土) 15:00～16:30
場 所 : 未定
講 師 : 池田孝氏(当会会員 昭和40年政経卒)
演 題 : 「日本の食料・農業を考える」

池田氏は三井化学で長年に渡り肥料部門を担当され、その分野でい
ろいろ経験されました。食料自給率4割未満という我が国の現状や、食の
安全、地球温暖化とグリーン対策まで幅広くお話ししていただきます。
ご期待ください。

平成22年1月以降のお誕生会について

いつもお誕生会についてはご協力いただきありがとうございます。お陰様でこのお誕生会は今年10月より5順目に入っております。このためややマンネリ化しているのご意見も多く、東村山稲門会役員会でもこれまでいろいろと検討を重ねて参りました。

その結果、とりあえず平成22年1月から、2ヶ月間にお誕生日を迎えられる方々を一堂に会して実施していくことにいたしました。

つきましては、平成22年1月9日のお誕生会は下記のように実施いたします。該当の方々はぜひこの新たな形でのお誕生会にご参加ください。お待ち申し上げます。

なお、誕生月ではないが誕生月の方と一緒に祝いして下さる方のご参加も歓迎いたします。ご希望の方は担当幹事までご連絡ください。また、誕生月該当者で、下記されていない方、担当幹事までご連絡ください。

○ 1月度・2月度お誕生会（担当幹事 南湖 TEL 390-2287）

日時： 1月9日（土） 17:00～19:00
場所： 割烹「丸藤」：久米川駅南口から徒歩1分
電話042-395-5646
会費： 3,000円

☆ 1月度お誕生の方々（敬称略 20名）

飯塚輝夫、伊藤友己、大曾根文雄、大西幸夫、奥山康治、小野 智、菊田 哲、木谷 肇、倉田哲也、小林俊治、佐久間厚、迫田 実、佐野祐史、澤村信義、高橋鶴次郎、滝澤利久、ドー・チハウ、成田豊太、堀田秀夫、三井正司

☆ 2月度お誕生の方々（敬称略 19名）

岡田一郎、尾島敏雄、菊池知明、木村草彦、崎山裕子、佐藤清彦、塩見之一、高橋正夫、田島隆夫、内藤 慎、長井 治、長尾勝美、原田道昭、樋地正秀、福田 晃、細山和男、宮 輝雄、宮元祥史、八木正晴

11月度「お誕生会」報告



担当幹事：南湖 修一 TEL 390-2287

今月のお誕生会は11月7日（土）17時丁度、いつもの久米川、「丸藤」で始まった。参加者は、11月にお誕生日を迎えられる方々12名中3名の他役員などで合計17名となった。小亀会長が当事者の一人のため、風間副会長からの流行中の新型インフルエンザの話題を交えたお祝いの言葉と乾杯の音頭によって宴はスタートした。當摩彰子副会長から差入れられた清酒「金婚」などを頂きながら和気藹々と歓談後、風間副会長からバースデープレゼント贈呈があり、その後該当3名の方々に夫々スピーチをお願いした。

83歳となられる栗島三郎さんは、ここ1年間俳句同好会で楽しく活動されていることや、NHK「百歳万歳」の話題などをご披露された。

昭和11年11月30日生れの小亀輝雄さんは、心臓を患ったときの苦労話の他、近い将来奥様をヨーロッパ旅行にお連れしたいという抱負を語られた。

当稲門会でしか誕生祝いをしてもらえなかったという昭和7年生れの佐藤守彦さんは、今年“喜寿”を祝うメールが娘さんから送信されてきたことを嬉しそうに話された。

赤荻さんによる写真撮影もあり、そろそろ19時になる頃全員で大西顧問から紹介された「ボケない小唄」、「ボケます小唄」を唄い、井垣さんの音頭で「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌（1番だけ）」を斉唱、最後に當摩彰子副会長の挨拶で散会となった。

第14回定時総会記念講演要旨



これからの世界で羽ばたく子供たちのために

安田忠治（教育37年）

いつの時代においても、子供の教育については、どのようにあったらよいか、話題にされたり、議論されたりします。それは第一に親御さんにとりましては、健やかに育って欲しいと願うことから自然なことです。また社会全体にとっても、一人ひとりが学校での日々の学習等に励み、次代を担う人材として期待に応えるように願っていることでもあります。

欧米諸国の一つ、英国においては、バランスがとれ、広い視野をもつ。精神的、道徳的、文化的、知的及び身体的な発達を推進する。将来の成人としての生活における機会、責任及び経験に向けて準備させる等のカリキュラムの下に、全国標準カリキュラムに基づいて学校教育を進め、子供たちの資質・能力の育成を図るようにしてきていることです。

また米国では、かつて経済における国際的な競争力の低下を背景に、すべての子供の学力向上を目指した教育改革の基になった報告書「危機に立つ国家（Nation at Risk）」が大きな役割を果たしていることです。ポスト産業社会が進み、労働者に高次の思考力や問題解決能力が求められている中で、高い学力水準をすべての子供に保障するという、卓越（**Excellence**）と平等（**Equality**）をあわせ持たせる教育を基本にしての施策となっています。

我が国の場合は、昭和22年（1947）に教科課程（**Course of Studies**）として始まった「学習指導要領」（以下、要領）によって教育を進めてきていることです。

子供たちの資質・能力を育てる根本になっていることは、幼小中高等学校等要領の冒頭に示している、「児童・生徒の人間として調和のとれた育成を目指す」ということです。

近年からの力点は、当初は「新しい学力観」として示されていたことが挙げられます。つまり、変化の激しい社会を担う子供たちに必要な力は、基礎・基本を身に付け、いかに社会が変わろうと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質・能力を身に付けるなどの「生きる力」を育てることです。

都道府県教育委員会はこのことを踏まえ教育目標や施策を策定し、市町村教育委員会はそれらを受け、学校との緊密な連携を図っていくことになります。各学校においては学校長の教育ビジョンの下、教師が教科・科目の具体的な指導を行い、切磋琢磨の部活動等の教育活動を通じ、子供たちが日々有意義な学校生活を送られるようにすることになります。

子供たちの「生きる力」の育成に当たって、学校週五日制の、親と子供が共有できる時間の有意義な活用や、子供たちの自主性等を育てる機会も生かし、学校では当初は「自由研究」の「総合的な学習の時間」を活用し、自分で考え判断する力を付けるようにします。

OECD実施の15歳生徒対象の「生徒の学習到達度調査」（PISA）で、高得点の部類にありながら、「読解力」の面では、フィンランドの子供たちのようになるには、先生から教わったことを基にして、学校や日常生活で、自分の思うことを口頭で発表したり、記述できるようにすることが求められています。フィンランドの指導や生徒の学習が参考になります。

要領ではこのことを重視し、学校でのすべての分野にわたり「言語活動」を活発にし、子供たちにゆとりある学校生活を送る中で、思考力とともに表現力を付けるようにしています。また、小学校では社会の国際化の進展への視野の下、英語を「外国語活動」として導入し、子供たちが主に身の回りのことを英語で述べ、この活動の時間になるとまた別の形で学習が展開されるなど、表現力の充実がより一層期待できる状況になってきました。

子供たちの資質・能力の向上を図るためには、学校を中心として、家庭、地域社会とともに学校評議委員会などの広い視野の支援と子供たちを温かく見守る姿勢が必要です。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

テニス同好会

世話人 當間 昭治 TEL 391-6023



11月の例会は23日(祭)久米川コートで実施。参加者は井手、福田、市川夫妻、戸田、當間に當間の次女が加わり7名。前日とは打って変わって気温15度・無風と絶好のテニス日和となりました。最高齢の井手さんは軽快な動きで何度もポイントをあげ、皆さん感嘆の声しきりでした。

12月と新年1月は下記の予定です。

		記
日時	12月 7日(月)	午前9時～午前11時
	1月11日(祭)	午後3時～午後5時
場所	両日とも久米川コート3	

(平成10年5月30日の第1回以来當間が世話人を務めてきましたが、今回で退任。後任は田島さんをお願いすることになりました。長い間のご協力に感謝します。メンバーの皆さん、今後ともよろしくお願いします。)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



11月例会を11月7日開催。野球の日本シリーズが行われている日でしたが、12月の優勝大会目指し最後の調整に皆が懸命な駆け引きを行い、楽しい一時でした。

参加は、井垣、井手、高鷲、高部、南湖、内藤の各氏6名。

12月は忘年会を兼ねた優勝大会です。多数の参加をお待ちします。

今後の予定

12月5日(土) 17:10 カラオケランド ブー

1月は都合により休止致します。2月以降の予定は、追ってお知らせ致します。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



第47回「稲酔」句会のご案内

日時	: 12月26日(土) 午後1時開始
会場	: 恩多ふれあいセンター 多目的室
内容	: 兼題「湯豆腐」含め・雑詠 計 5句
	: 投句は前日必着で世話人まで(EメールFAX)
	: 高点句は「丸藤」2階の当会額に掲示されます。
忘年懇親会	: 句会終了後、17:00から久米川駅前「丸藤」で忘年懇親会をおこないます。

《兼題「湯豆腐」(湯奴)》

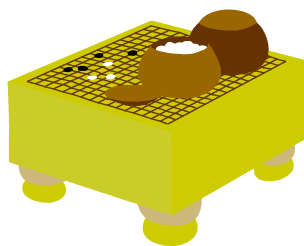
ヒューヒューと窓を叩く木枯らしの音がする季節になると、鍋料理を楽しむ機会が増えます。なかでも代表的なのが掲題の「湯豆腐」。家庭団らん、飲み仲間との会合、独酌の相手に、と時と場合がいろいろ思い浮かんできます。五七五で詠み易そうな題材だけに却って苦勞しそうな気がしますね。佳句が期待されます。

湯豆腐やいのちの果てのうすあかり
湯豆腐や幸せに居て気付かざる
湯豆腐に咲いて萎れぬ花かつを

万太郎
勝夫
友二

(稲雀 記)

囲碁同好会



世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

●12月の「例会」を、下記の要領で開催します。本年度最後の例会です。奮ってご参加ください。

日 時 平成21年12月19日(土) 午後1時開始

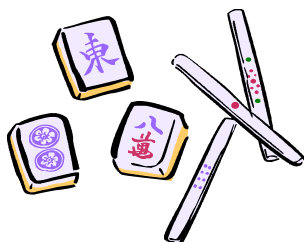
場 所 市民センター別館 第6会議室

○『囲碁はボケ防止の妙手』の著者である金子満雄氏(浜松医療センター脳外科部長)は、次のように言っておられる。

「碁を知っている、というだけでは駄目である。最低、週に何回か打って、複数の相手と対局するところに意味があるらしい。楽しんでいるうちに先見性、注意分配能力、機転、洞察力などが磨かれるのだろう。

これまで、若い頃ちょっとだけ碁を打ったことがあるという十人余りの患者さんに囲碁による脳のリハビリをやってもらったが、全員が見事に甦った。……」

麻雀同好会



世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

第49回大会を下記要領にて開催します。忘年会を兼ねて賑やかにしたいと思います。奮ってご参加下さい。

記

日 時 : 12月13日(日)

集 合 : 12時10分

開 始 : 12時30分

場 所 : マーじゃんM TEL 397-5228

本町4-12 アメニティパレス B1F

会 費 : 7,000円

締め切り日 : 12月8日(日)

開催日まで時間がありませんので、雀卓人数の都合もあり、この記事をご覧になったら直ぐお申し込み下さい。

尚、先る11月14日懇親会場で、参加のご承諾頂いた方はその旨準備して居ります。

(松永記)

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934

第1回 早稲田大学校友会ゴルフ大会 9位に終わる!

11月5日(木)、埼玉県飯能市の久邇カントリークラブに於いて、第1回校友会ゴルフ大会が開催され、当会から内藤慎さん(S28商)、益田昂さん(S36法)、津野慶浩さん(S37商)、堀田秀夫さん(S45文研)、井垣和太(S37商)の5名が参加しました。

各チーム上位4人のスコアでの団体戦で当会は健闘し23チーム中9位に食い込みました。優勝は大阪早稲田倶楽部、準優勝は提携関係にある高麗大学日本校友会でした。個人戦では、堀田さんが18位、益田さんが31位に入賞しました。

プレー後のパーティーでは、大阪から来年は関西でとの開催招致があったり、提携大学である高麗大学日本校友会の方の韓国流の乾杯の音頭に全員が唱和したり、最後は日韓の末永い交流を祈念してのエールの交換をしたりと、会場は大いに盛り上がり、応援部稲門会のリードで世界に冠たる『都の西北』の大合唱で、お開きとなりました。

(井垣記)

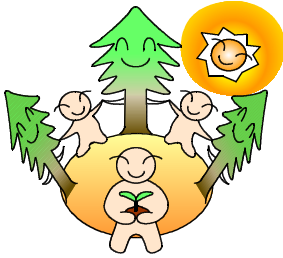


音楽同好会

世話人 高橋文子 TEL 393-2676



11月21日に例会を開きました。12月の例会は13日（日）午後1時半より恩多ふれあいセンターにてクリスマス会を兼ねて行います。お手伝いしていただける方は午後1時にお集まりください。会費を一人1,000円ずつ徴収します。今回はかくし芸なども大歓迎。多くの皆様の参加をお待ちしています。



緑のたわごと

池田 孝（S40政経）

最近、地球温暖化をめぐる話題がテレビ・新聞等マスコミで連日賑わしております。二酸化炭素【CO₂】、メタン【CH₄】、亜酸化窒素【N₂O】、フロンガス等々の温室効果ガス【宇宙へ逃げようとする熱を捉えて地球を暖める働きをする気体で、太陽光線は通すが温室のガラスハウスのような働きをする】が地球の気候変動・温暖化等の原因となり、国連を中心にその対策が色々議論されております。

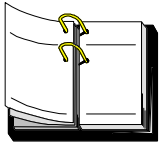
この温室効果ガスのうち二酸化炭素が54%を占め、その40%が化石燃料【石炭・石油等】に起因しているといわれております。ここで、地球温暖化問題を論ずる積りは有りませんが、次世代に青い地球、紺碧の空、青山緑水の山村と田園を是非築きあげていかねばと思います。

一方、この問題に対応し『緑』、『グリーン』の言葉が地球環境論的、政治/経済的或いは産業ビジネス論的に世界を賑わしております。米国オバマ大統領が国家戦略上グリーンエネルギー活用を提唱する『グリーン・ニューディール政策』、ガットウルグアイ或いはドーハラウンドの食料安全保障・環境保全・農業生産者保護政策等の『緑の政策』、東南アジアの主食である水稻・インディカ米の増産運動の『グジーンレボリューション』、中国・中近東・アフリカ等々の『砂漠の緑地・緑化運動』、日本でも『グリーン・エネルギーの開発・普及促進』、山林業での雇用・就業対策の『グリーン雇用』、民主党マニフェストの『緑と食と農業への農政変革』等など地球に優しい『緑』の提言・対策が沢山謳われております。

さて、私は今年5月上旬から10月中旬まで狭いながらも我が家の窓辺に『緑のカーテン』を設置すべくゴーヤ【別名ゴーヤー、ニガウリ、ツルレイシ】を栽培致しました。地球温暖化へのささやかな貢献でもあります。夏・秋の『緑の簾』は夏の日差し、暑さを凌ぎまた部屋の中、外から眺めた箱庭の如き景觀に心休まる想いと元気に育ってくれたと感謝したものでした。イボに覆われたゴーヤはビタミンCを多く含み、健胃効果が有り、夏バテに効く健康野菜です。その食し方も種々あるようですが、ゴーヤチャンプルー、和え物、葉・果実の天ぷら等など美味しく戴き、併せて『緑酒に月の影宿し・・・』で一献傾けることができました。

更には、近隣の幼児・児童が黄色の小さな可憐な花を一杯つけ毎日成長・成熟していくゴーヤの姿を“キラキラ”した眼で見守り、笑顔でもぎ取って帰る姿が平和で又微笑ましくも忘れられませんでした。

この上は来年も“環境に優しいエコロジー派”として老骨に鞭打ち『緑のカーテン』を栽培し、大げさですが、縄文・弥生時代から続いた『瑞穂の国』の伝統文化に少しでも貢献できればと思うのです。



今月の行事（12月）

- 5日（土）12月度役員会
お誕生会
カラオケ同好会
7日（月）テニス同好会
13日（日）麻雀同好会
音楽同好会
19日（土）囲碁同好会
26日（日）俳句同好会

1月（前半）の予定

- 9日（土）1月度役員会
お誕生会
11日（祭）テニス同好会



編集局だより

○帰省した折、「浜松モザイカルチャー世界博 2009 浜名湖立体花博」に行ってきました。モザイカルチャーとは絵画や彫刻などの芸術と造園や園芸のなどの技術が融合した「緑花像景アート」です。作品は人や動物、物語のシーンなど様々で、展示はなかなか見応えがありました。その日は天気もよかったのでついでに会場近くの舘山寺温泉、大草山展望台から周辺の景色を眺めてきました。実家は市の中心部にあり、私自身は東京に住んでいるので、ほとんど観光客の気分です。ただ、そうは言っても、生まれたのは浜名湖に面した雄踏町という所でもあり、やはり故郷の風景を懐かしんでいたのでしょうね。

○次号の原稿締め切りは 12月21日（月）です。よろしく願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

齢またひとつ加わる冬初め 栗島 三郎
 芸枯れて逝く人のあり柿落葉 井垣 稻雀
 身に入むや蛇口から水温かく 菊田 一平
 身に入むやごま粒ほどに鳩群れて
 綿虫の舞や鳥獣戯画の寺
 白障子白し鳥獣戯画の寺 幸田 瑞雄
 不況風吹き飛ばさんと収穫祭
 （東村山市産業祭）
 爺や婆鴛鴦だ鴨だと朝散歩 小永井 哲哉
 ささやきを秘めて風待つ落ち葉たち
 冬霞む埠頭どこかでペンキの香 高部 糸行
 陽に白き涸れ川わたる冬の風
 母子して畝入れ替えつ麦を踏む 戸田 泉
 冷やかや道に広がる濡れ落ち葉
 鴨渡るやとと伴侶を見つけたら 内藤 慎
 紅葉をかき分け落つ那智の滝
 冠雪の水面に映ゆる逆さ富士 丸本 北窓
 ゴミ出しも生きる証や寒牡丹
 白髪に席をゆずりぬ木の葉髪 八木 竜湖
 雨風の染む干柿の甘さかな
 楚々として背き合ふ影水仙花